

(報道発表資料)

2022年4月20日
NTTアーバンソリューションズ株式会社
株式会社NTTファシリティーズ
NTT都市開発株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
アズビル株式会社
ダイキン工業株式会社

NTTグループ・アズビル・ダイキン工業がカーボンニュートラル実現に向け協業 ～グリーントランスフォーメーションによりオフィスビルのCO₂排出量2割削減へ～

NTTアーバンソリューションズ株式会社（以下 NTTアーバンソリューションズ）、株式会社NTTファシリティーズ（以下 NTTファシリティーズ）、NTT都市開発株式会社（以下 NTT都市開発）、NTTコミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）、アズビル株式会社（以下 アズビル）、ダイキン工業株式会社（以下 ダイキン工業）の6社は、カーボンニュートラルの実現に向け、空調制御に関する協業（以下 本協業）契約を締結しました。本協業により、各社が持つ空調制御に関する技術や知見を掛け合わせ、新築・既存を問わずあらゆるビル・施設にスムーズに導入できる空調制御分野におけるグリーントランスフォーメーションソリューション（以下 GXソリューション）を確立することで、オフィスビルをはじめとした大規模な施設のCO₂排出量を削減し、社会全体のカーボンニュートラル実現に大きく貢献します。

1.背景

一般的なオフィスビルや商業施設においては、エネルギー消費量の約5割を空調が占めており、多くのビルに空調の省エネ化に資する技術を導入することが、カーボンニュートラル実現に向けた重要な取り組みの1つとなっています。

新築のビルにおいては、省エネ性能の高い空調設備が導入されているケースが多い一方、既存のビルでは設備更改コストなどの事情により、省エネ性能の劣る空調設備のまま運用されているケースも多く、社会全体のカーボンニュートラルの実現に向けては、新築・既存に関わらずスムーズに導入できるGXソリューションの確立が急務です。

2.本協業における具体的な活動内容

(1) GXソリューションの確立

人流や快適性、エネルギーの予測を基にAIが空調運転シナリオを算出するとともに、自動制御を行うGXソリューションを確立します。また、GXソリューションの高度化や早期の社会実装に向け、さまざまなリソースを持つパートナー企業の参画を広く求め、活動を推進します。

(2) 新築・既存を問わずあらゆるオフィスビル・商業施設に対応できる導入手法の確立

NTT グループ所有のビル・施設において GX ソリューションの実証を重ねる中で、新築ビルだけでなく、既存のビルにも導入しやすい手法を確立します。

(3) 全国のオフィスビル・商業施設への導入・展開

NTT グループが保有している新築・既設ビル・施設への GX ソリューションの導入・展開に加え、NTT グループ外の企業が保有している全国の大規模ビル・施設 1 万棟への導入・展開をめざします。例えば、都内にある延床面積 10 万㎡を超えるビルでは、オフィスや商業施設などをもつ複合施設であることが多く、GX ソリューションを導入することで、エネルギー消費量を約 150~350 万 kWh/年（電力量換算値）、CO2 排出量を約 700~1,600t/年削減可能と試算しています。

(4) 認証制度への対応

GX ソリューションを建築物の省エネ性能に関する認証制度に対応させ、普及・拡大に取り組むことにより、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献します。

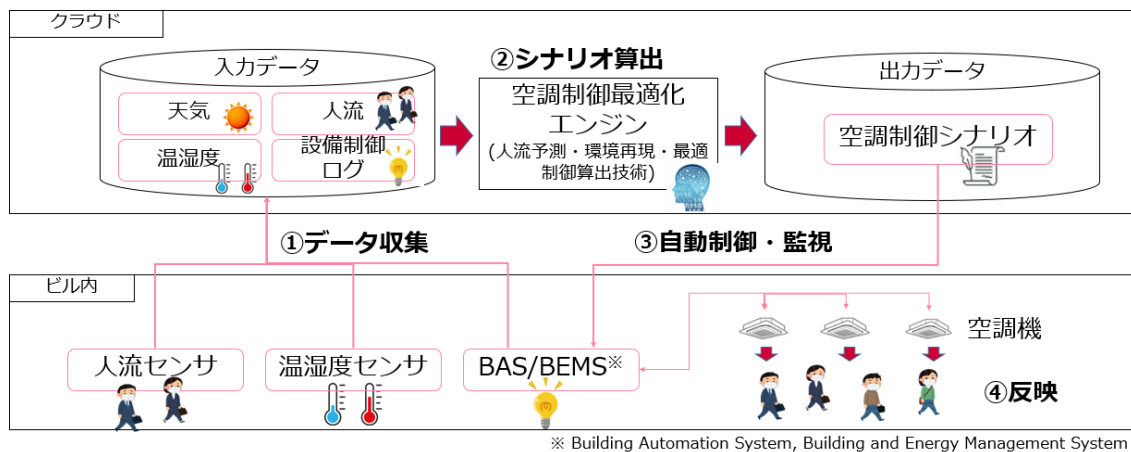


図 GX ソリューション(イメージ)

3.各社の役割

・NTT アーバンソリューションズ・NTT 都市開発 :

自社が保有するアセットにおける GX ソリューションの確立・導入、環境整備などの準備

・NTT ファシリティーズ、NTT Com、アズビル、ダイキン工業 :

ビル運用技術・空調制御ノウハウの提供による GX ソリューションの確立、展開

4.今後の展開

さまざまな技術を持つパートナー企業の参画を広く募集し、全国の大規模ビル・施設 1 万棟への GX ソリューションの導入をめざします。さらに、日本国内だけでなく、海外のビル・施設へも導入し、グローバル展開を進めます。

また、空調制御分野のみならず、エネルギーの可視化など、お客さまの GX ソリューションに資するさまざまなソリューションを提供し、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献します。

なお本協業の GX ソリューションは、NTT の研究所(NTT スマートデータサイエンスセンタ)や NTT グループ各社が一体となって取り組む「街づくり DTC®」の実証の一環である「空調制御最適化」システム※の成果を活用します。「街づくり DTC®」ではフードロス削減やおもてなしサービスといった他のサービスとの連鎖により、街区の中で新しい価値を創出することをめざします。

■カーボンニュートラル実現をめざす各社の取り組み

・NTT グループ：「NTT Green Innovation toward 2040」

<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/09/28/210928a.html>

・アズビル：「2050 年温室効果ガス排出削減長期ビジョン」

<https://www.azbil.com/jp/csr/basic/environment/overall/vision.html>

・ダイキン工業：「環境ビジョン 2050」

<https://www.daikin.co.jp/csr/company/vision>

■参考

国土交通省法人建物調査(H30)によると、日本全国における法人の保有する建物(事務所)は約 20 万棟あり、大規模(1 万㎡～)は約 4,000 棟、中規模(5,000～1 万㎡)は約 6,000 棟、小規模(~5,000 ㎡)は約 19 万棟存在。

【関連リリース】

■NTT、NTT アーバンソリューションズ 2021 年 2 月 2 日

「未来の街づくり」を実現する NTT グループのデジタル基盤「街づくり DTC™」の技術開発、実証実験の開始について

<https://www.ntt-us.com/news/2021/02/news-210202-01.html>



NTT アーバンソリューションズ株式会社が行う「街づくり DTC®」プロモーション「わがまちみらい」のイメージキャラクターに鉄腕アトムを起用しています。
©Tezuka Productions
わがまちみらい「想像を超えた未来が、すぐそこに。」
<https://www.NTT-us.com/waga-machi-mirai/>

■NTT アーバンソリューションズ、NTT 都市開発 2021 年 4 月 5 日

次世代型先進オフィス「アーバンネット名古屋ネクスタビル」における新たな働き方を支える最先端 ICT のご紹介

<https://www.ntt-us.com/news/2021/04/news-210405-01.html>

■NTT アーバンソリューションズ、NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社 NTT ファシリティーズ、NTT 都市開発 2021 年 11 月 29 日

街づくり DTC「空調制御最適化」システムの開発について

<https://www.ntt-us.com/news/2021/11/news-211129-02.html>

■ NTT アーバンソリューションズ、NTT 都市開発 2022 年 2 月 1 日

次世代型先進オフィス「アーバンネット名古屋ネクスタビル」竣工

<https://www.ntt-us.com/news/2022/02/news-220201-01.html>

【問い合わせ先】

NTT アーバンソリューションズ株式会社

経営企画部 広報室

03-6381-1150

株式会社 NTT ファシリティーズ

経営企画部 広報室

03-5444-5112

NTT 都市開発株式会社

経営企画部 広報室

03-6811-6241

NTT コミュニケーションズ株式会社

経営企画部 広報室

03-6700-4010

アズビル株式会社

経営企画部 広報グループ

070-4219-9296 ・ 03-6810-1006

ダイキン工業株式会社

コーポレートコミュニケーション室 広報グループ

(大阪) 06-6373-4348 (東京) 03-6716-0112